



獣害を防ぐ行動を実践しましょう！

兵庫県における獣害(アライグマ、サル、シカ、イノシシ等)による被害区域は拡大の傾向にあります。獣害を防ぐための一人一人の行動が求められています。

今回は、特定外来生物である「アライグマ」と野生動物「サル」による被害を防ぐための行動についてご紹介します。

特定外来生物「アライグマ」

アニメの影響で、可愛らしく、ペットとして飼うことができるというイメージで、北アメリカから輸入されましたが、攻撃性が強く、飼育が放棄され、野外に放されてしまいました。

夜行性で、手先が器用なため、魚や昆虫、畑の野菜や果実などを食べたり、住居への侵入、糞尿等の生活被害も発生しています。



【アライグマの被害を防ぐ行動】

- ◆ 出産や育児場所となる屋根裏等の出入口を塞ぐ。
- ◆ 誘引する収穫しない農作物や残渣、家庭ごみ、ペットの残り餌を放置しない。(餌付けと同じです)



野生動物「ニホンザル」

ニホンザルは群れで生息し、県内には餌付け群を含めて6地域に分布します。メスの群れから離れたオスが単独で行動し、生息地から遠い場所に出没することがあります。

【ハナレザルの被害を防ぐ行動】

- ◆ 餌付け行為はやめる。誘引物となるものは放置しない。
- ◆ 単に移動ルートとして出没している場合は、山の方向へ追い払う。(市街地内では、通り過ぎるのを待つ)



※1アライグマ防除の手引き(環境省)(https://www.env.go.jp/nature/intro/3control/files/manual_raccoon.pdf)をもとに新しいライフスタイル委員会作成

※2特定外来生物アライグマ(環境省)(https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_arraiguma_kyusyu.pdf)をもとに新しいライフスタイル委員会作成

まとめ

野生動物はペットではありません！

- 餌を与えることで、野生動物が人をこわがらなくなります。
- 人馴れした野生動物は餌を求めて、人を襲うことがあります。
- ハイキングやキャンプなどでの残飯や生ゴミの放置は、餌付けと同じ！
- 集落内でも、田のひこばえや無意識に放置された果樹などは、野生動物にとっては、美味しい餌となります。

一人ひとりが獣害対策を考えてみましょう！

特集

新しい食材、シカ肉の魅力を紹介します。

シカやイノシシは、農村地域では農作物の被害をもたらす迷惑ものですが、冬の味覚として知られる猪の「ぼたん鍋」に負けず劣らず、シカ肉も栄養価が高く、人気が高まっています。魅力ある食材であるシカ肉を取り入れたライフスタイルを考えてみませんか。

特長その1 ダイエット中の方やアスリートの方にぴったり！

シカ肉は、牛肉と比べると、エネルギーがおよそ3分の1、脂質がおよそ20分の1であり、アレルギーを引き起こす物質も少なく、とてもヘルシーなお肉です。

また、タンパク質がおよそ1.2倍、鉄分がおよそ1.7倍、機能性アミノ酸の一種で脳機能の向上があるとされるアセチルカルニチンがおよそ2倍あるなど、優れた栄養を持っています。

特長その2 ペットフードとしても大人気！

食用に使えない部位や鮮度が低くなったものを原料にした、シカ肉ペットフードも鉄分が豊富で、運動量の多い犬にも大好評です。

シカ肉を食べてみよう！

西播磨、但馬、丹波地域の道の駅やレストランで、焼肉、ローストディアークロquette、カレーなどのシカ肉料理が味わえます。神戸のレストランやホテルでもフランス料理風として提供されています。ぜひ、シカ肉の美味しさを味わってください。

～シカ肉はこんなメニューに使えます！～



お子さまにも大人気のクリームシチュー



シカ肉はハンバーガーにもぴったり！

【発行元】 地球環境時代！新しいライフスタイルを展開しよう～
新しいライフスタイル委員会 (<http://www.new-lifestyle.org>)
【問い合わせ先】 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課 TEL:078-362-3156

この印刷物は再生紙を利用しています。

